



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

Toyo University supports the Sustainable Development Goals

2026年度講師派遣

東洋大学の
講義を全国各地に
お届けします



生涯学習支援
プログラム

SDGs達成学習支援
プログラム

研修支援
プログラム

4 質の高い教育を
みんなに



東洋大学講師派遣事業は、SDGs17の
国際目標「4 質の高い教育をみんなに」
を全体の共通目標としております。



東洋大学

ごあいさつ

東洋大学では、公開講座の提供や講師派遣による生涯学習・研修支援プログラム、社会人へのリカレント教育、地域づくりにおける協働など、社会貢献活動に力を入れております。中でも、ここにご紹介する講師派遣は、本学ならではのユニークな特徴を備えております。

第一に、学外への講義提供が、本学の前身である私立哲学館から続く伝統の上に成り立っていること。第二に、提供している18領域500以上の講演テーマが、2015年から国連が推進している「持続可能な開発目標：SDGs」と高い親和性を有しているということです。

まず学外での講演の歴史を紐解いてみましょう。大学教育を構外に普及させようとする動きは、19世紀のイギリスにおいて、教師や家庭教師（ガバネス）として生きていた女性たちが、ケンブリッジ大学の教員であったジェームズ・スチュアートに対し、大学教育と同じ講座を頼んだことにその起源の一つを求めることができます。発達しつつあった鉄道網を利用して各地で開催された講演は、大学拡張講座（ユニバーシティ・エクステンション）として、イギリス国内外へと瞬く間に広がりました。また郵便制度の発展は、大学へ通うことのできない人々に「講義録」を届ける通信教育（遠隔教育）の発達をも促しました。

こうした19世紀における大学教育拡張の状況は、本学の創立者である井上円了先生も知るところとなりました。円了先生は「私立哲学館」創立の前年に当たる1886年から、通信講学会のメンバーとして「心理学」のテキストを書き始めています。このテキストは当時中学校や師範学校の教員検定試験を受けようとしていた地方の人々を主な対象としていました。同時に、女子教育への必要性を感じていた円了先生は、成立学舎女子部講義録にも執筆をしています。さらに、哲学館創立後には館外員制度を作り、当時としてはかなり安い料金で多くの人々に講義録を提供したのです。

民衆の教育こそが近代的な国家建設に必要であると考えた円了先生は、人々が物の見方や科学的な考え方をより深めていけるように奮闘しました。巡回講演は全国60市2,198町村で5,291回を数え、130万人以上の人々が講演を聴いた、との記録が残されています。円了先生は講義に出向いた先で敬愛され、哲学館が災害に遭った際には、そうした人々からも修復や新築のためのご支援を頂いたとのことでした。

それから東洋大学は大きな発展をとげ、全国有数の学生数を誇る総合大学となりました。しかし、創立者の志を受け継ぎ、ご支援を頂いたことを忘れないために、創立者没後80年を記念して1999年から「御礼」の講師派遣を開始したのです。講師派遣は2,600回を超えましたが、まだまだ円了先生の記録には及びません。今後もインターネットを駆使したリカレント教育の推進を図る一方で、それと共存する形で、皆様のもとへ講師を派遣し研究成果をお届けする方法を守ってまいりたいと考えております。

第二の特色につきましては、次ページにおいて「東洋大学とSDGs」についての概説を行いますので、併せてご確認いただければ幸いに存じます。本学では2021年に「学校法人東洋大学SDGs行動憲章」を制定し、全学を挙げて各ゴールの実現に向けた研究・教育、そして実践に取り組んでおります。地球規模の課題に応えるべく、本学が有する多様な「知」を皆様にお届けしたいと考えています。

このような特徴を有する本学の講師派遣事業を大いに活用していただければ嬉しく思います。



東洋大学 学長 矢口悦子



対象 教育委員会、生涯学習・社会教育等の各種団体が開催する講演会および学校のPTA等で企画する講演会等

特色 講師の講演料・交通費・宿泊費は本学が負担



対象 全国の小・中・高等学校、特別支援学校

特色 講師の講演料・交通費・宿泊費は本学が負担



対象 企業、各種団体等で実施する研修会等

特色 交通費等は実費負担となりますが、リーズナブルな講演料

東洋大学とSDGs

東洋大学の創立者・井上円了は、学問は自己満足に終わるものであってはならない、その成果を応用し社会に役立てるのだからなければならない、と指摘しています。本学のあらゆる教育・研究活動は、すべて世のため、人のため、社会のために行われていくべきでしょう。今日、深刻な社会の課題は地球規模においてつながっており、本学の教育・研究活動はその地球社会を覆う諸問題の解決に向けてなされるべきです。現在、それらの課題を網羅したものとしては、国連で推進している「持続可能な開発目標」、SDGsがあります。このSDGsの根本理念は、「誰一人取り残されないように」(No one will be left behind) にあります。総合大学である東洋大学は知の拠点としてこのSDGsに積極的に取り組むことを通じて、地球の未来に大きく貢献する大学となることを目指します。すなわち、Globalizationが進んだこの現代社会において、真のHuman valueの実現を果たすべく、Creativityを発揮して、SDGsの観点からInnovationを現代社会に巻き起こす大学を実現してまいります。



Toyo University supports the Sustainable Development Goals



東洋大学講師派遣事業および公開講座は、SDGs17の国際目標「**4 質の高い教育をみんなに**」を全体の共通目標としております。なお、**4**以外の目標にも合致するテーマについては、別途、テーマ一覧に目標アイコンを表示しております。

実施要領

- 高校生対象の「授業体験（出張講義）」は、入試課が窓口となります。
- 本学学生会又は校友会支部等のご講演は、各会本部事務局へご相談ください。

| | 生涯学習支援プログラム SDGs達成学習支援プログラム | 研修支援プログラム | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|---|-----|------|------|-------|-------|-----------|-----|-----|--------------------------|-----|---------|-----------|
| 事業内容 | <p>生涯学習支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会、生涯学習・社会教育等の各種団体が開催する講演会および学校のPTA等で企画する講演会等へ本学の講師を派遣します。 <p>SDGs達成学習支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全国の小・中・高等学校、特別支援学校におけるSDGs目標達成のための教育を推進するため、本学専任教員を派遣し、関連事業を実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●企業、各種団体等で実施する研修会等へ本学の講師を派遣します。 <p>※教職員等、専門職を対象とした講演会は研修支援プログラムをご利用ください。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 申込期間 | <ul style="list-style-type: none"> ●2026年4月1日（水）～10月15日（木） ※開催予定日の2ヵ月前までに申込んでください。9月・10月開催の場合は、7月4日（土）迄に申込んでください。 ※期間外の場合は「講師派遣」制度を利用できません。 | | | | | | | | | | | | | |
| 派遣期間 | <ul style="list-style-type: none"> ●2026年6月1日（月）～12月15日（火） ※5月中に派遣を希望される場合は別途ご相談ください。 | | | | | | | | | | | | | |
| 派遣条件 | <p>●対面及びオンラインによる派遣を実施します。 ただし、講師によってはいずれか選択できない場合がございます。</p> <p>●受講者となる皆様には配付資料等により必ず「本学社会貢献センター 講師派遣事業協力による開催」である旨、お知らせいただきます。</p> | <p>講師1名を派遣します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講演時間 50分～90分 ●受講者人数 制限なし | | | | | | | | | | | | |
| | <p>生涯学習支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講演時間 50分～90分 ●受講者人数 原則30名以上 <p>SDGs達成学習支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講演時間 45分～60分 ●受講者人数 原則25名以上 <p>●受講料を徴収する講演会は対象外。</p> <p>●1団体につき年間1回のみ、講師1名を派遣。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 諸経費など | <p>生涯学習支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師の講演料・交通費・宿泊費等は、本学が負担いたします。 | <p>●費用負担と支払い方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>料 金</th> <th>算出基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講師派遣料</td> <td>3万円＋税</td> <td>講師1名あたり一律</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>実 費</td> <td>講師の自宅または所属キャンパスより会場までの実費</td> </tr> <tr> <td>宿泊費</td> <td>18,000円</td> <td>宿泊を伴う場合のみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>●算出基準は、東洋大学の規定に準拠します。詳細はお問い合わせください。</p> <p>●講演終了後に請求書をお送りいたしますので、所定の口座へお振り込みください。</p> | 内 訳 | 料 金 | 算出基準 | 講師派遣料 | 3万円＋税 | 講師1名あたり一律 | 交通費 | 実 費 | 講師の自宅または所属キャンパスより会場までの実費 | 宿泊費 | 18,000円 | 宿泊を伴う場合のみ |
| | 内 訳 | | 料 金 | 算出基準 | | | | | | | | | | |
| 講師派遣料 | 3万円＋税 | 講師1名あたり一律 | | | | | | | | | | | | |
| 交通費 | 実 費 | 講師の自宅または所属キャンパスより会場までの実費 | | | | | | | | | | | | |
| 宿泊費 | 18,000円 | 宿泊を伴う場合のみ | | | | | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●講演会・研修会の案内、会場の準備（使用機器を含む）、教材費（運送費を含む）に関わる経費は、主催者側でご負担ください。 | | | | | | | | | | | | | |

注意事項

- ご依頼の前に、必ずご一読ご同意のうえ、申し込みください。
- 申込後は、注意事項に同意されたものとして、取り扱いさせていただきます。

| | 生涯学習支援プログラム | 研修支援プログラム |
|----------------|---|--|
| | SDGs達成学習支援プログラム | |
| 講師やテーマのご希望に関して | <ul style="list-style-type: none"> ●講師派遣を専門とする教員はおりません。授業や教授会等と派遣依頼が重なった場合は学内行事が優先となります。(第1～第3希望までご記入いただく際は、別講師・別曜日をご記入ください。) ●申込書にご記入いただいた第1～第3希望の講師・曜日の中で授業等を考慮し、調整いたします。第1希望の講師を派遣できない場合も多くございますので、ご了承のうえお申し込みください。 ●講師には年間の派遣上限回数がございます。毎年同一講師を選定することは避けてください。 ●一度依頼した講師、テーマ、日時を変更することは一切できません。講演内容についての適否の判断や会場施設の確保等を行ったうえで依頼してください。 ●講演テーマの内容は、本学HP講師派遣Webサイトに記載しておりますので、必ず事前にご確認ください。 | |
| 申込に関して | <ul style="list-style-type: none"> ●前年度受講者数が派遣条件の人数を満たしていない団体への派遣は、検討させていただきます。 ●申込期間中であっても、当該年度予算上限に達した時点で受付を終了します。 ●3年連続でお申し込みされた場合、次年度はお休みいただきますので、予めご了承ください。 (生涯学習支援プログラムのみ) | — |
| 派遣決定後から当日まで | <ul style="list-style-type: none"> ●講師は、会場周辺に不案内です。最寄り駅からは、極力送迎をお願いいたします。 ●派遣決定後、講演内容や使用機器等の詳細な打ち合わせ、および当日の待ち合わせ等の調整については、主催者側が講師と直接行ってください。 ●Web型実施の場合は、主催者側がホストとなり、接続テストを含め、講師との調整を行なってください。 ●Web講義に関して、通信障害等により十分な講義が提供できなかった場合も本学での責任は負いかねます。 ●講演の記録(録音・録画)や他会場での同時中継等は、事前に申込書などで本学へ必ずご相談ください。当日会場講師への直接依頼はできません。 ●特に別段の合意をした場合を除き、講演に伴い生じる著作権その他知的財産権は、講師にあります。講演の内容を、他の目的・方法により利用される場合は、有償無償を問わず、講師の事前の許諾が必要です。 | |
| 中止や変更 | <ul style="list-style-type: none"> ●終了後は、必ず報告書および全受講者を対象としたアンケート(いずれも本学作成)をご提出ください。 ※SDGs達成学習支援プログラムは、アンケートのご提出は不要ですが参加者の感想を報告書にお寄せください。 | <ul style="list-style-type: none"> ●終了後は、必ず報告書をご提出ください。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ●講師の急病等で派遣不能な場合は、代替講師の派遣などの措置を講じますが、調整がつかず派遣できないことがあります。 ●以下の事由にて、本学の判断で中止や変更する場合がありますが、変更等にて生じた損害等について、本学は責任を負いません。 <ul style="list-style-type: none"> ●講師の急病や事故等 ●講師の生命や身体の安全を確保できない恐れがある場合 ●交通機関の運休、災害等発生の恐れがあると発表された場合 ●本学の名誉を棄損する恐れがある場合 ●Web講義における通信障害 | |
| | — | <ul style="list-style-type: none"> ●派遣決定後、主催者の都合により派遣中止となった場合、交通費等キャンセルに伴う実費を請求させていただきます。 |

お申込等の流れ

生涯学習支援プログラム

SDGs達成学習支援プログラム

研修支援プログラム



Web サイト内「講演テーマ一覧」より希望テーマを選択

<https://sites.google.com/toyo.jp/haken/home/theme?authuser=0>



開催予定日2カ月前までにWebサイト「申込フォーム」より申込

<https://sites.google.com/toyo.jp/haken/home/Dispatch-form?authuser=0>

※お問い合わせ前にP7「よくある質問」をご確認ください

本学にて調整後、派遣可否の連絡 ※1～2週間程度かかります

開催当日の詳細について派遣講師と直接調整

本学からの見積額を確認

開催当日（実施）

終了後、1週間以内に
報告書・アンケートを提出※

(SDGs達成学習支援プログラムはアンケートの提出は不要ですが、参加者の感想を報告書にてお寄せください。)

終了後、1週間以内に
報告書を提出※

本学より送付する請求書に
基づき講師派遣料等の支払い
(請求日より1カ月以内)

※報告書・アンケートは
Webサイトよりダウンロード



<https://sites.google.com/toyo.jp/haken/home/report?authuser=0>

よくあるご質問 Q&A

お電話でお問合せいただく前にご確認いただきますようお願いいたします

Q1 申込方法はWebのみですか？

はい。いずれのプログラムも本学のWebサイトよりお申込みとなります。お電話やメール等でのお申込みは受け付けておりません。

Q2 講演にかかる費用はどのくらいですか？

生涯学習支援プログラム・SDGs達成学習支援プログラム
原則無料です。講師の講演料・交通費・宿泊費は本学が負担します。ただし、最寄り駅より会場までが遠く公共交通機関がない場合は、送迎をお願いしております。また、講演会の募集案内、会場の準備（使用機器含む）、教材費（運送費を含む）等は主催者側で行っていただき、それに伴う費用もご負担ください。

研修支援プログラム

講師派遣料として1名あたり一律3万円+税、および交通費実費・宿泊費（必要な場合）をお支払いいただきます。詳細はP4をご確認ください。その他、講演会・講義の案内、会場の準備（使用機器含む）、教材費（運送費を含む）等は主催者側で行っていただき、それに伴う費用もご負担ください。

Q3 複数回申込みはできますか？

生涯学習支援プログラム・SDGs達成学習支援プログラム

いいえ。年に1回、講師1名の派遣となります。また、生涯学習支援プログラムの場合は、団体が異なっても同一市区町村の官公庁からのお申込みは原則年1回となります。

研修支援プログラム

はい。特に制限は設けておりません。

Q4 当日の受講者数が少なくなっても講演の実施は可能ですか？

生涯学習支援プログラム・SDGs達成学習支援プログラム

受講者人数（原則として生涯学習支援プログラム30名、SDGs達成学習支援プログラム25名）以上の参加が必須条件となります。当日参加者が減る見込みがある場合は、条件を満たすよう募集人数を多く設定してください。

研修支援プログラム

はい。特に制限は設けておりません。

Q5 毎年同じ先生に講演をお願いしたいのですが…。

同一講師の年間派遣回数が決まっているため、ご希望に添えない場合がございます。毎年同一講師を選定することはご遠慮ください。

Q6 講演時間の指定はありますか？

生涯学習支援プログラム・研修支援プログラム

50分～90分の間であれば自由に設定していただけます。

SDGs達成学習支援プログラム

45分～60分の間であれば自由に設定していただけます。

Q7 希望テーマ・講師は複数記入しないとイケませんか？

講師の授業や校務により、必ずしも第一希望にならない場合があります。複数の講師又は複数の曜日を記載していただいた方がご希望の日程で開催できる可能性が高くなります。

Q8 テーマは毎年同じものですか？

いいえ。テーマは毎年度更新されますので、本学Webサイトパンフレットをご確認の上、お申込みください。なお、記載している内容とかけ離れたテーマでの講演はできません。

Q9 講師の派遣期間対象外（例：1～3月に実施）にA先生に講演依頼したい場合はどのような手続きになりますか？

講師派遣事業とは異なり、教員個人に対する依頼事項となります。よって、教員所属の学部Webページ等をご確認の上で、直接教員または学部教務担当課へお問合せください。なお、学部教務課の連絡先は、本学ホームページ「お問合せ窓口」の「学部の就学手続・進級手続・授業・履修・成績に関すること」に掲載されています。また、教員の連絡先は、インターネット等で公開されている場合もありますので、ご確認ください。

対面型の講師派遣について

主催団体におかれましては、感染症対策の取り扱いについては、本学Webサイト（URL：<https://sites.google.com/toyo.jp/hco/infection>）でお知らせいたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。



対面講義時のマスク着用について

- 「マスクの着用」の考え方につきましては、政府より個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることとなりました。
- 主催団体にてご判断ください。
- 政府における「新型インフルエンザ等対策」はURL：<https://www.caicm.go.jp/citizen/influenza/index.html> をご覧ください。



中止又はWeb型へ切り替えとなる基準

感染症の拡大が発生した場合には、政府方針等に基づき本学で判断し、中止又はWeb型での実施となります。なお、Web型は、講師派遣申込時に主催者と本学（講師）の双方がWeb開講に合意したものに限りま

※ Web型は主催者側がホストとなり、接続テストを含め、講師と調整を行ってください。

※ 原則としてWeb型は、接続テストを含め、本学事務局は参加いたしません。

※ 上記の状況が解除された場合でも、対面型へ戻すことはいたしません。

※ 通信障害等により十分な講義が提供できなかった場合でも、本学での責任は負いかねます。

※ 今後の状況に応じて変更する場合があります。

2025年度利用者の方から寄せられた声

生涯学習支援

広島県
竹原市教育委員会



講演テーマ 「食を取りまく環境」～日本と世界の食料事情を考える～

講師 大熊 廣一（名誉教授）

- 専門的なお話を、グラフやイラスト、ニュース映像等を用いて、わかりやすく説明されていた。また、昨今の食生活に大きな影響を与えた天候不順等による米不足、それに伴う米価の高騰についても触れていただき、参加者の興味を引いていた。
- フードロスについては、現状とその現状を解決するための取組（予約販売にする、賞味期限を月表示にする）を説明された後、皆さんは、どのような取組をされますかと、問いかけてされており、参加者が自分事として、考えることのできる機会を提供していた。
- フードロスを減らすために、自分が日々できることをやっていきたい。
- 東洋大学講師派遣事業について、教育機会を作るという意味で非常に良い事だと思った。
- これからの食事について、不安があったが、その不安がよく分からなかったので、本講座で少し事情が分かった。

SDGs達成学習支援

東京都
田園調布学園中部・高等部



講演テーマ 数学の神様が微笑むとき

講師 小山 信也（理工学部 教授）

- 数学を単なる計算の道具としてではなく、世界の秩序や美しさを探求する“思考の学問”として示してくださいと、生徒たちは大変興味深く耳を傾けていました。特に、数学における「定義」の大切さについて、例を交えながら丁寧にご説明くださったことで、生徒たちは「言葉を正確に使うこと」「曖昧を取り除いて考えること」の重要性を実感したようです。また、「特捜9」のお話では、ドラマの脚本の添削にも学者としての信念をもって携わっていて、先生が数学という学問を教える立場として誇りを持っていることが伝わってきました。
- 数学とは、ただ公式を覚えて使えるようにするだけではなく、公式や定義の価値を深く理解した先に、本当の楽しさや面白さが待っているのだと分かった。また、自分が想像していたよりも、数学者が幅広い分野で活躍していると知った。これからは、数学の神に微笑んでもらえるように、積極的に数学に取り組む姿勢を見せていきたい。

研修支援

新潟県
魚沼市教育センター



講演テーマ 子ども・若者の貧困を考える

講師 森田 明美（名誉教授）

- 子ども真ん中の世の中、心に残る言葉です。昔はこれを意識しなくても、子どもの数が今よりも多くても、子どもを取り巻く集団、社会が大きかったので自然と子どもが真ん中になっていたのでしょう。今は法整備で子どもを取り巻く社会を作らなければならないほどの世の中になってしまったのかもしれないね。学校、福祉を中心に、子ども真ん中の社会を作っていかなければならないと思いました。
- 頑張れない子どもは背景に特性があるのではと考えますが、その際貧困も視野に入れて考えなければいけないと感じました。
- 子どもの貧困、貧困の連鎖を止めるために、早めの支援が大切なことがわかりました。自分の置かれた状況が把握できないことや、SOSを出しにくいなど、子どもの特性を理解し、支援者が気づけるよう努力しなければいけないと思いました。
- 「福祉に早くつながる」ことの大切さを本当に苦しんでいる親世代の方には特に知ってほしいことだなと感じました。
- 目の前にいる子どもの「今」を支えることが、未来を作りその先の子まで支える、という言葉が印象的でした。

※団体名・講師の所属や職位等は講師派遣当時の表記です

2026年度 講師派遣 テーマ一覧

〈生涯学習支援〉 共通
〈研修支援〉

下記のテーマの中からお選びいただけます。各テーマの詳細（個別の内容ページ）については本学Webサイト（<https://sites.google.com/toyo.jp/haken/home/>）に掲載しております。**お申し込みの際は必ず事前にご確認ください。**申込期間外や本学関連団体（浦水会や校友会支部）は講師派遣制度を利用できません。



SDGs

（持続可能な開発目標）とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東洋大学講師派遣事業は、SDGs17の国際目標「**4 質の高い教育をみんなに**」を全体の共通目標としております。また、その他の目標に沿った内容のテーマには、上記番号をつけております。

生涯学習支援・研修支援共通

生涯学習支援のみ

研修支援のみ

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|-------------|---------------------------------|---------------|--------|--|-----------------------|
| A 井上円了・東洋大学 | | | A-生涯-4 | 井上円了の仏教観 | 竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授 |
| A-共通-1 | 井上円了の見た世界 | 山口しのぶ 元文学部 | A-生涯-5 | 今日の高等教育と井上円了の教育理念 | 竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授 |
| A-共通-2 | 哲学館からチベットへ －明治の取経僧・河口慧海と能海寛－ | 山口しのぶ 元文学部 | A-生涯-6 | 井上円了の妖怪学 | 竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授 |
| A-共通-3 | 井上円了と哲学 | 今井 悠介 文学部 | A-生涯-7 | 井上円了が受けたカルチャーショック －円了は海外で何を見、何を考えたのか－ | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|------------------------|--|---------------------------|--------------------|--|---|
| A-生涯-8 | 井上円了の生涯をかけた熱き闘い －最後の著作『奮闘哲学』による－ | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 | B-共通-27 | コロナ禍とウクライナ戦争を 地方の視点から考える | 17 市川 顕 国際学部 |
| A-生涯-9 | 哲学堂公園内古建築の建築的価値 | 11 高岩 裕也 理工学部 | B-共通-28 | 世界・日本・地域の防災 | 1 2 11 13 松丸 亮 国際学部 |
| A-生涯-10 | 『マンガ円了』からみる東洋大学創設の理念 | 長谷川琢哉 法学部 | B-共通-29 | 開発途上国の災害・復興と国際協力 | 1 2 11 13 松丸 亮 国際学部 |
| A-生涯-11 | 哲学者・井上円了はなぜ「妖怪博士」でも あるのか？－井上円了の妖怪学について－ | 長谷川琢哉 法学部 | B-共通-30 | 開発途上国の環境衛生 | 3 6 北脇 秀敏 国際学研究所 |
| B エネルギー・環境問題・災害 | | | B-生涯-31 | われわれの生活を支える 静脈系インフラの現状と課題 | 6 11 12 荒巻 俊也 国際学部 |
| B-共通-12 | 自然と仏教 | 3 12 13 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 | B-生涯-32 | エコ活動は環境に優しいのか？－環境 問題におけるトレードオフを考える－ | 12 13 荒巻 俊也 国際学部 |
| B-共通-13 | 共生と環境 | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 | B-生涯-33 | 地域脱炭素化の進展と市民の貢献 | 11 13 荒巻 俊也 国際学部 |
| B-共通-14 | 持続可能な資源循環 | 9 12 後藤 尚弘 情報連携学部 | B-生涯-34 | 市民が担い手となる地域の 森林と田んぼの保全 | 2 3 11 15 17 小瀬 博之 総合情報学部 |
| B-共通-15 | 環境に関する講演－廃棄物、持続社会、 環境とIT、環境コミュニケーション、 温暖化、生物多様性など－ | 12 後藤 尚弘 情報連携学部 | B-生涯-35 | 木材利用の促進による 脱炭素社会の実現 | 13 15 村野 昭人 理工学部 |
| B-共通-16 | 気候変動対策と市民の役割を考える | 13 小川 芳樹 東洋大学名誉教授 | B-生涯-36 | 開発途上国の環境問題 | 3 6 北脇 秀敏 国際学研究所 |
| B-共通-17 | 気候変動問題を考える | 13 小川 芳樹 東洋大学名誉教授 | B-生涯-37 | 物語としての「環境問題」 －文学・文化研究からのアプローチ－ | 信岡 朝子 文学部 |
| B-共通-18 | エネルギー問題を考える | 7 小川 芳樹 東洋大学名誉教授 | B-生涯-38 | 環境社会学 －その魅力と課題－ | 1 2 3 7 10 青木 辰司 東洋大学名誉教授 11 12 16 17 |
| B-共通-19 | 石油価格（エネルギー価格）の 乱高下を考える | 7 小川 芳樹 東洋大学名誉教授 | B-生涯-39 | 野生動物とどうつきあうか －現状とこれから－ | 11 15 室山 泰之 経営学部 |
| B-共通-20 | なぜ今、プラスチックごみ対策？ | 14 鈴木 孝弘 東洋大学名誉教授 | B-生涯-40 | 廃食油による循環型社会の実現 | 6 12 13 大塚 俊彦 理工学部 |
| B-共通-21 | 身近な環境問題 「光害」を考えよう | 11 13 15 越智 信彰 経営学部 | C 情報社会・メディア | | |
| B-共通-22 | 電線がなくても電気がつたわる －空間伝送型無線電力伝送とは－ | 7 藤野 義之 理工学部 | C-共通-41 | 人と人のネットワークが社会を形成する | 11 中挟知延子 国際観光学部 |
| B-共通-23 | ほの字も出ない放射線教育 | 大辻 永 理工学部 | C-共通-42 | パブリック・リレーションズ（PR） | 菌部 靖史 社会学部 |
| B-共通-24 | 人間と自然－防災の観点から－ | 11 大辻 永 理工学部 | C-共通-43 | 社会調査データを使って社会をとらえる －データにだまされないで－ | 10 西野 理子 社会学部 |
| B-共通-25 | EUの気候変動・エネルギー政策 | 7 市川 顕 国際学部 | C-共通-44 | 現代社会に問われ始めた デジタルとアナログのコラボ力 | 浅間 正通 人間科学総合研究所 |
| B-共通-26 | EUエネルギー同盟とエネルギー安全保障 | 7 市川 顕 国際学部 | C-共通-45 | ネットショッピングの魅力と注意点 | 12 長島 広太 経営学部 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|--------------|---|----------------------|---------|--|-------------------------|
| C-共通-46 | 「ゲーム依存症」とは何か？ ゲーム研究の観点より | ブリュクナー ステファン 経営学部 | D-共通-65 | 暑さに負けない身体と生活環境 | 3 13 加藤 和則 健康スポーツ科学部 |
| C-共通-47 | ゲームから学べるものとは？ 学習ツールとしてのデジタルゲーム | ブリュクナー ステファン 経営学部 | D-共通-66 | もっと詳しく知りたいタバコと発がん | 3 椎崎 一宏 生命科学部 |
| C-共通-48 | 地図の見方ー地図表現をめぐる問題 | 9 政春 尋志 元理工学部 | D-共通-67 | 量子と医療 | 3 本橋 健次 生命科学部 |
| C-共通-49 | デジタル人材の育成 | 11 島田 裕次 元総合情報学部 | D-共通-68 | 世界の病院 | 3 10 岡本 和彦 理工学部 |
| C-共通-50 | カオス的な情報社会を科学する ー時代を乗り切る複雑系情報学入門ー | 上條 賢一 東洋大学名誉教授 | D-共通-69 | モバイル・ホスピタル | 3 10 岡本 和彦 理工学部 |
| C-生涯-51 | 個人情報保護入門 ーどのように守ればよいかー | 11 島田 裕次 元総合情報学部 | D-共通-70 | 「スポーツ」を「人・ヒト」に教えること ー他者の運動感覚をどのようにつかむかー | 3 金子 元彦 健康スポーツ科学部 |
| C-生涯-52 | サイバー時代の身の守り方ー何が問題で どのように守ればよいかー | 11 島田 裕次 元総合情報学部 | D-共通-71 | 運動のススメ (講義版) | 3 高橋 珠実 食環境科学部 |
| C-生涯-53 | 情報社会と心の教育 | 浅間 正通 人間科学総合研究所 | D-共通-72 | 運動のススメ (実技版) | 3 高橋 珠実 食環境科学部 |
| C-生涯-54 | ネットワーク社会における人間関係 ーインターネットとケータイが社会を変えたー | 海野 敏 社会学部 | D-共通-73 | (実技版) ニュースポーツ、パラリン ピック種目体験で変わる、広がる！ スポーツの世界、あなたの世界！！ | 3 17 高橋 珠実 食環境科学部 |
| C-生涯-55 | 印刷メディアの行く末ーウェブ社会で新聞・ 雑誌・本は消えてゆくのかー | 海野 敏 社会学部 | D-共通-74 | 「オリンピックレガシーについて」 ーオリンピック・パラリンピック後につ いて、私たちが考えなければならないことー | 3 谷塚 哲 健康スポーツ科学部 |
| C-生涯-56 | 情報メディアとコミュニケーション ーメディアの文化史ー | 鈴木 道也 文学部 | D-共通-75 | 睡眠の不調への対処と心理支援 | 3 松田 英子 社会学部 |
| C-研修-57 | 情報セキュリティ入門 ー企業での対応ー | 8 9 島田 裕次 元総合情報学部 | D-共通-76 | 空気は誰のもの？「香害」について考える | 3 川瀬 晃弘 経済学部 |
| D 健康・運動・医療・食 | | | D-共通-77 | 植物の研究で食糧問題に挑戦する | 2 廣津 直樹 生命科学部 |
| D-共通-58 | 毎日の健康と長寿の決定要因は？ | 3 鈴木 孝弘 東洋大学名誉教授 | D-共通-78 | 食でのびる寿命、縮む寿命 | 3 芝崎 誠司 経済学部 |
| D-共通-59 | あまり飲まないほうがいい薬の話 | 3 鈴木 孝弘 東洋大学名誉教授 | D-共通-79 | やさしい免疫の話 | 芝崎 誠司 経済学部 |
| D-共通-60 | 運動効果を得るために知っておきたい 身体の仕組みと運動を続けるためのコツ | 3 小河 繁彦 生命科学部 | D-共通-80 | 知っておきたい食と体の常識 | 5 芝崎 誠司 経済学部 |
| D-共通-61 | 万能薬としての運動： ストレスと脳への効果 | 3 小河 繁彦 生命科学部 | D-共通-81 | 食中毒を引き起こす様々な細菌とその予防 | 3 下島優香子 食環境科学部 |
| D-共通-62 | 身近な遺伝子組換え食品 | 2 12 佐々木和生 食環境科学部 | D-共通-82 | すべての子ども、児童生徒が輝く 球技・ボール運動の授業 ～フラッグフットボールを通じて～ | 3 奥村 拓朗 健康スポーツ科学部 |
| D-共通-63 | ウイルス排除に大切な免疫力とは | 3 加藤 和則 健康スポーツ科学部 | D-共通-83 | 笑いとユーモアを科学する ー笑い情報学入門ー | 3 上條 賢一 東洋大学名誉教授 |
| D-共通-64 | 薬・トクホ・機能性表示と 健康食品の違い | 3 加藤 和則 健康スポーツ科学部 | D-共通-84 | おいしさを科学する ー家庭でできる食の品質情報学入門ー | 3 上條 賢一 東洋大学名誉教授 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|----------|--|-----------------------------------|----------------|---|---------------------------------|
| D-共通-85 | 「和食」とは何か | 3 露久保美夏 食環境科学部 | D-生涯-105 | 認知行動カウンセリングの理論と技法 | 3 松田 英子 社会学部 |
| D-共通-86 | こころとからだを整えるヨガ | 3 高橋 珠実 食環境科学部 | D-生涯-106 | 再生医療の可能性 ～iPS細胞でできること～ | 3 川口 英夫 生命科学部 |
| D-共通-87 | メンタルヘルス不調やフレイルの予防と 対処方法 | 3 川口 英夫 生命科学部 | D-研修-107 | 市町村健康増進計画の策定と評価のコツ | 齊藤 恭平 健康スポーツ科学部 |
| D-生涯-88 | ストレスの本当の姿 ～本能と文明の闘い～ | 3 堀内 城司 生命科学部 | D-研修-108 | 衛生管理のキホン ～食品事故の防ぎ方～ | 3 佐藤 順 元食環境科学部 |
| D-生涯-89 | 胸がドキドキの脳科学入門 | 3 堀内 城司 生命科学部 | D-研修-109 | PFASとは？ 食品関連事業者のための基礎と対応 | 3 6 佐藤 順 元食環境科学部 |
| D-生涯-90 | 自律神経ってなに？ ～命を支える影の立役者～ | 3 堀内 城司 生命科学部 | E 共生・福祉 | | |
| D-生涯-91 | 神経可塑性が支える子どもの脳の発達 | 3 児島 伸彦 生命科学部 | E-共通-110 | 子ども・若者の 貧困を考える | 1 3 5 8 10 11 森田 明美 東洋大学名誉教授 |
| D-生涯-92 | 人生100年時代の脳活術 ～認知症を防ぐ4つの習慣～ | 3 児島 伸彦 生命科学部 | E-共通-111 | 子どもの権利の視点は なぜ必要か | 1 3 5 8 10 11 森田 明美 東洋大学名誉教授 |
| D-生涯-93 | 健康なマチのつくりかた | 3 齊藤 恭平 健康スポーツ科学部 | E-共通-112 | 子どもの権利の具体化を どのように進めるか | 1 3 5 8 10 11 森田 明美 東洋大学名誉教授 |
| D-生涯-94 | ダイエットのための正しい基礎知識 | 3 小河 繁彦 生命科学部 | E-共通-113 | 児童虐待時代の福祉臨床学 | 3 鈴木 崇之 福祉社会デザイン学部 |
| D-生涯-95 | 子供の成長と運動について考える ～身体と脳～ | 3 小河 繁彦 生命科学部 | E-共通-114 | コミュニティの活用 ～人のつながりを重視して～ | 大坪 宏至 経営学部 |
| D-生涯-96 | 食品表示から食の安全・安心を考える | 3 12 大熊 廣一 東洋大学名誉教授 | E-共通-115 | 日本で生活している難民 | 1 10 16 荻野 剛史 福祉社会デザイン学部 |
| D-生涯-97 | 子育て世代の親が知っておきたい 食の安全について考える | 3 12 大熊 廣一 東洋大学名誉教授 | E-共通-116 | 外国につながるの子どもと家族 | 10 16 内田 千春 福祉社会デザイン学部 |
| D-生涯-98 | 食を取りまく環境 ～日本と世界の食糧事情を考える～ | 2 大熊 廣一 東洋大学名誉教授 | E-共通-117 | 外国にルーツをもつ人々の 多様な宗教文化を理解する | 3 10 高橋 典史 社会学部 |
| D-生涯-99 | 食のSDGs | 2 6 12 13 14 15 大熊 廣一 東洋大学名誉教授 | E-共通-118 | ロシア語圏移住者でみる 在留外国人コミュニティ | 3 5 8 10 16 古ロウイナクセーヤ 社会学部 |
| D-生涯-100 | 食品の成分を知ること ～食品成分測定法～ | 3 細谷 孝博 食環境科学部 | E-共通-119 | ペットへの愛着と悲嘆 | 3 11 佐藤 亜樹 福祉社会デザイン学部 |
| D-生涯-101 | 巷に蔓延る健康食品 ～あなたはトクホと機能性表示食品の違いを 説明できますか？～ | 3 細谷 孝博 食環境科学部 | E-共通-120 | 日本における障がい者スポーツの 現在地を考える | 3 10 金子 元彦 健康スポーツ科学部 |
| D-生涯-102 | 食品の油？脂？本当に悪いもの？ ～食品中の油脂について～ | 3 細谷 孝博 食環境科学部 | E-共通-121 | 「全世代型社会保障」のゆくえ ～福祉国家は終わったか | 3 11 沼田 良 元法学部 |
| D-生涯-103 | 食生活および生活リズムと健康との関わり | 3 吉崎 貴大 健康スポーツ科学部 | E-共通-122 | 世界で一番幸せな国？世界幸福度報告 書を手掛かりにフィンランドを探る | 1 3 5 10 藪長 千乃 国際学部 |
| D-生涯-104 | 睡眠中の夢と心の健康 | 3 松田 英子 社会学部 | E-共通-123 | もしものとき、家族を支えられますか ～災害と介護から考える、日常の備え～ | 3 11 八木 裕子 福祉社会デザイン学部 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|----------|---|-----------------------------|----------|--|---------------------------|
| E-共通-124 | 多様な性をスポーツから考える | 5 10 松宮 智生 法学部 | F 教育・子ども | | |
| E-生涯-125 | 日本の貧困問題と社会保障の課題 | 1 3 10 川原 恵子 福祉社会デザイン学部 | F-共通-143 | 教育について考えるいくつかのヒント ーぬいぐるみの犬の話ー | 藤本 典裕 東洋大学名誉教授 |
| E-生涯-126 | 日本のホームレス問題 ～可視化されにくい女性～ | 1 3 5 川原 恵子 福祉社会デザイン学部 | F-共通-144 | たかがアニメの教育学ーサザエさん、ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃんー | 藤本 典裕 東洋大学名誉教授 |
| E-生涯-127 | 閉じる家族、開く家族 ー家族の歴史の変遷から考えるー | 3 8 西野 理子 社会学部 | F-共通-145 | 保護者負担教育費と教育を受ける権利 | 藤本 典裕 東洋大学名誉教授 |
| E-生涯-128 | もしものときに慌てないために ー身近な介護と福祉のはなしー | 3 11 八木 裕子 福祉社会デザイン学部 | F-共通-146 | これから求められる資質・能力と学習活動とは ー新学習指導要領とこれからの学びー | 後藤 顕一 食環境科学部 |
| E-生涯-129 | 介護する覚悟、介護される覚悟 ー誰もが当事者になる時代にー | 3 11 八木 裕子 福祉社会デザイン学部 | F-共通-147 | 子どもの心の成長を支える ー健やかな心、めげない強さー | 中原 美恵 東洋大学名誉教授 |
| E-生涯-130 | 障がいのある人々への 虐待防止と人権擁護 | 3 10 是枝喜代治 元福祉社会デザイン学部 | F-共通-148 | 園や学校における相談支援 ー「聴く」技法と「勇気づけ」ー | 中原 美恵 東洋大学名誉教授 |
| E-生涯-131 | 身体は誰のものかー生命と人権ー | 吉田 公平 東洋大学名誉教授 | F-共通-149 | 「遊び」の中で育つ学びに向かう力 | 3 内田 千春 福祉社会デザイン学部 |
| E-生涯-132 | 人権問題の新局面を考える | 吉田 公平 東洋大学名誉教授 | F-共通-150 | 子どもの発達と「危ない病」 | 嶋崎 博嗣 福祉社会デザイン学部 |
| E-生涯-133 | 社会福祉の意味 | 1 10 金子 光一 福祉社会デザイン学部 | F-共通-151 | “遊び”の応援の仕方 | 嶋崎 博嗣 福祉社会デザイン学部 |
| E-生涯-134 | 福祉サービスの公私関係の変遷 ーイギリスに焦点を当ててー | 金子 光一 福祉社会デザイン学部 | F-共通-152 | 幼児期と多様性理解教育の可能性 | 3 嶋崎 博嗣 福祉社会デザイン学部 |
| E-生涯-135 | 社会福祉の歴史を学ぶ意義 | 金子 光一 福祉社会デザイン学部 | F-共通-153 | 子育て支援と地域コミュニティ | 1 3 5 11 矢口 悦子 学長 |
| E-生涯-136 | 戦前日本の救済の歴史 | 1 金子 光一 福祉社会デザイン学部 | F-共通-154 | 分かっていますか？ 「怒る」と「叱る」の違い | 3 鈴木 崇之 福祉社会デザイン学部 |
| E-生涯-137 | 戦後日本の社会福祉の歴史 | 10 金子 光一 福祉社会デザイン学部 | F-共通-155 | 日本に暮らす外国人家族と支援 | 10 南野奈津子 福祉社会デザイン学部 |
| E-生涯-138 | 知的障がいのある人々への余暇支援 ースポーツを通じてー | 3 志村 健一 福祉社会デザイン学部 | F-共通-156 | 外国にルーツのある児童と 言語教育 | 3 10 16 グロウイナクセーヤ 社会学部 |
| E-生涯-139 | ユニファイド・スポーツ®ー知的障がい のある人たちとのスポーツ活動ー | 3 志村 健一 福祉社会デザイン学部 | F-共通-157 | 教育現場における 「カルト問題」への対応 | 3 17 高橋 典史 社会学部 |
| E-生涯-140 | ライフモデルチャートを使った アセスメント手法を学ぶ | 3 10 16 佐藤 亜樹 福祉社会デザイン学部 | F-共通-158 | 学習と學問ーなぜ我々は学ぶのかー | 吉田 公平 東洋大学名誉教授 |
| E-生涯-141 | ソーシャルワーカーと同僚・職場・社会 への倫理責任とはー米国のソーシャル ワーカーの倫理綱領を紐解くー | 3 10 16 佐藤 亜樹 福祉社会デザイン学部 | F-共通-159 | 考える楽しさを伝える理科授業 | 大辻 永 理工学部 |
| E-生涯-142 | ロボットセラピー ーアザラシ型ロボットの効用ー | 3 10 16 佐藤 亜樹 福祉社会デザイン学部 | F-共通-160 | 授業支援システムを活用した 出欠管理と授業態度向上への工夫 | 小山 信也 理工学部 |
| | | | F-共通-161 | 万次郎はいかにして 「ジョン・マン」になったのか | 岩下 哲典 文学部 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|----------|---|-----------------------------------|------------------|--|---------------------------|
| F-共通-162 | サイエンティフィックリテラシー | 宮西 伸光 食環境科学部 | F-生涯-182 | 発達障がいのある子どもの理解と支援 | 3 是枝喜代治 元福祉社会デザイン学部 |
| F-共通-163 | 構造的テキストデザイン法による 学習教材の作成 | 長谷川勝久 文学部 | F-生涯-183 | ムーブメント教育・療法による 子どもの発達支援 | 3 是枝喜代治 元福祉社会デザイン学部 |
| F-共通-164 | 教育測定と評価 | 長谷川勝久 文学部 | F-生涯-184 | 特別支援教育に生かす体育・スポーツ | 3 是枝喜代治 元福祉社会デザイン学部 |
| F-共通-165 | S-O-P表とカリキュラムマップ | 長谷川勝久 文学部 | F-生涯-185 | 手のことばで話そう！ -インクルーシブな 社会をひらく、世界のコミュニケーション- | 10 八木 裕子 福祉社会デザイン学部 |
| F-共通-166 | ハーバード式 Zoom 授業入門 | 川瀬 晃弘 経済学部 | F-生涯-186 | 小学生の読書感想文 -親が手伝う・教師がしかける- | 片山美由紀 社会学部 |
| F-共通-167 | フィンランドの子育てと教育 | 3 5 敷長 千乃 国際学部 | F-生涯-187 | 大学で何を学んだらよいのか？ | 8 幸田 浩文 東洋大学名誉教授 |
| F-共通-168 | スポーツコーチング -「教える」から「学ぶ」へ | 3 水島 淳 健康スポーツ科学部 | F-生涯-188 | どうして大学にいかななくては ならないのか？ | 8 幸田 浩文 東洋大学名誉教授 |
| F-共通-169 | 学校管理職研修、学校事務職員研修 | 葛西 耕介 文学部 | F-生涯-189 | 女性のライフデザイン学 | 5 堀本麻由子 文学部 |
| F-共通-170 | 敬語の使い方 | 高橋 直美 福祉社会デザイン学部 | F-生涯-190 | イギリス文学・イギリス映画にみる教育 | 10 井上 美雪 社会学部 |
| F-共通-171 | 味わう力を育む味覚教育 | 3 露久保美夏 食環境科学部 | F-生涯-191 | 認知行動療法に基づいた子どもの 問題行動の捉えと指導 | 3 松田 英子 社会学部 |
| F-共通-172 | "子どもの権利"ってなんだろう？ ~子どもの権利条約、こども 基本法の意味と課題~ | 1 3 5 林 大介 11 16 17 福祉社会デザイン学部 | F-生涯-192 | 社会科の指導とアクティブラーニング | 栗原 久 元文学部 |
| F-共通-173 | 子どもの権利条例の意義と課題 | 1 3 5 林 大介 11 16 17 福祉社会デザイン学部 | F-生涯-193 | 金融経済教育の進め方 | 栗原 久 元文学部 |
| F-共通-174 | 18歳選挙権時代の主権者教育・ 政治教育のあり方 | 10 11 13 林 大介 16 17 福祉社会デザイン学部 | F-生涯-194 | 18歳選挙権時代の社会科教育 | 栗原 久 元文学部 |
| F-共通-175 | 自分の仕事をどう見つける？ | 8 榊原 圭子 社会学部 | F-生涯-195 | 子どものためのデジタル社会 | 11 島田 裕次 元総合情報学部 |
| F-共通-176 | 生成AIが、教育に問いかけるもの -AGI時代の教育方法と、 教育目標を考える- | 8 9 松原 聡 東洋大学名誉教授・元副学長 | F-生涯-196 | 若者たちが地域で生きて いくために何が必要か | 3 5 11 矢口 悦子 学長 |
| F-生涯-177 | 赤ちゃんとお出かけ環境 | 仲 綾子 福祉社会デザイン学部 | F-生涯-197 | 学校・公教育における親・保護者の 権利について | 葛西 耕介 文学部 |
| F-生涯-178 | わが国のしつけを考える・ おたくのしつけも考える | 大坪 宏至 経営学部 | F-研修-198 | 乳幼児期からの多文化共生保育・ 教育と異文化理解 | 10 16 内田 千春 福祉社会デザイン学部 |
| F-生涯-179 | 現代社会における親と子 -親にとって子どもとは何か- | 3 8 西野 理子 社会学部 | F-研修-199 | 保育におけるドキュメンテーションの活用 | 高橋 健介 福祉社会デザイン学部 |
| F-生涯-180 | 不安定就労時代の親子関係 | 5 10 西野 理子 社会学部 | G 地域社会・観光 | | |
| F-生涯-181 | 障がい児・者への発達支援 -豊かなコミュニケーションを育むために- | 緒方登士雄 東洋大学名誉教授 | G-共通-200 | 地域社会と多言語コミュニケーション | 11 中挟知延子 国際観光学部 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|----------|---|--|-----------------------|--|---------------------|
| G-共通-201 | “幸福度”の都道府県格差は？ | 10 鈴木 孝弘 東洋大学名誉教授 | G-生涯-221 | アジアの街から見た日本 | 11 篠崎 正彦 理工学部 |
| G-共通-202 | 郷土の先人に学ぶー地域社会の活性化ー | 吉田 公平 東洋大学名誉教授 | G-生涯-222 | ベトナムの日本人街 | 11 篠崎 正彦 理工学部 |
| G-共通-203 | 復興小学校のデザイン思想 | 日色 真帆 理工学部 | G-生涯-223 | オリンピックと観光 ー文化振興と復興の観点からー | 11 須賀 忠芳 国際観光学部 |
| G-共通-204 | ネパールの若者が描く未来 | 8 10 小林 正夫 社会学部 | G-生涯-224 | 世界遺産を考える | 鈴木 道也 文学部 |
| G-共通-205 | ネパールの国際出稼ぎ・移民事情 | 8 10 小林 正夫 社会学部 | G-生涯-225 | 地元の再発見と地域資源を活かした 観光地域づくり戦略 | 11 鈴木 鉄忠 国際学部 |
| G-共通-206 | 最高のホスピタリティを知るー世界の リーディング・ホテルを通じてー | 9 徳江順一郎 国際観光学部 | H 心理・コミュニケーション | | |
| G-共通-207 | 旅館の昔と今ー変化への対応による明暗ー | 9 徳江順一郎 国際観光学部 | H-共通-226 | 「聴き上手」になるために ー言葉のボールの受け止め方ー | 鈴木 崇之 福祉社会デザイン学部 |
| G-共通-208 | 南イタリアの多文化共生社会 | 11 中挾知延子 国際観光学部 | H-共通-227 | ヨガで学ぶメンタルヘルス | 3 加藤千恵子 総合情報学部 |
| G-共通-209 | 結婚式の真実 | 9 徳江順一郎 国際観光学部 | H-共通-228 | 企業におけるメンタルヘルス | 3 加藤千恵子 総合情報学部 |
| G-共通-210 | 21世紀の幸福論 ー幸せな国づくりに取り組む ブータンの事例を通してー | 1 3 9 10 11 藤原 整 社会学部 | H-共通-229 | 健康寿命を延ばす健康増進法 | 3 加藤千恵子 総合情報学部 |
| G-共通-211 | 関係人口論を通じた 地方の活性化 | 1 3 8 10 11 青木 辰司 東洋大学名誉教授 | H-共通-230 | 楽しく学ぶアートセラピー | 3 加藤千恵子 総合情報学部 |
| G-共通-212 | 人生 100 年時代における ボランティア活動の意義とこれから | 11 16 17 林 大介 福祉社会デザイン学部 | H-共通-231 | コーチング入門 | 室松 慶子 法学部 |
| G-生涯-213 | 「まちあるき」で地域の 魅力を掘りおこそう | 11 17 小瀬 博之 総合情報学部 | H-共通-232 | 聴くことと話すこと | 吉田 公平 東洋大学名誉教授 |
| G-生涯-214 | 地域はあなたの活躍を期待しています。 地域活動に参加するための処方箋。 | 8 11 15 17 小瀬 博之 総合情報学部 | H-共通-233 | グローバル人材になるための処方箋 | 浅間 正通 人間科学総合研究所 |
| G-生涯-215 | 地域資源の再評価による地域の活性化 | 11 高橋 一男 東洋大学名誉教授 | H-共通-234 | 英語演説を読み解く | 5 16 竹野谷みゆき 文学部 |
| G-生涯-216 | 地域を開く未来世代へのメッセージ ー7世代後の子孫にむけてあるべき 世界を展望しよう!!ー | 1 2 10 16 17 青木 辰司 東洋大学名誉教授 | H-共通-235 | 子育ての国際比較：コペアレンティング 国際研究プロジェクト結果から | 3 藪長 千乃 国際学部 |
| G-生涯-217 | 農泊と観光の推進 ーインバウンド政策 の展開に向けてー | 8 9 12 14 15 16 17 青木 辰司 東洋大学名誉教授 | H-共通-236 | 人と AI・ロボットの適切な距離感と 将来的な相互理解を前提とした関係性 | 12 津村 賢宏 情報連携学部 |
| G-生涯-218 | グリーン・ツーリズム ーフェアツーリズムの 意義を踏まえてー | 3 5 7 8 9 10 13 15 16 17 青木 辰司 東洋大学名誉教授 | H-生涯-237 | あなたは気持ち言葉を表していますか？ ーよりよいコミュニケーションを目指してー | 坂詰 力治 東洋大学名誉教授 |
| G-生涯-219 | 震災復興支援と ツーリズム | 1 2 3 7 8 9 10 11 12 17 青木 辰司 東洋大学名誉教授 | H-生涯-238 | 生涯発達のための ストレス・マネジメント | 3 緒方登士雄 東洋大学名誉教授 |
| G-生涯-220 | 都市に農のある世界をつくる ー新たなまちづくりの意義 | 1 2 3 7 8 9 10 11 12 17 青木 辰司 東洋大学名誉教授 | H-生涯-239 | 人「間」と空「間」 | 11 篠崎 正彦 理工学部 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|-------------|---|-----------------------|----------|---------------------------------------|--------------------------|
| H-研修-240 | DE&I (ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョンとは) | 5 加藤千恵子 総合情報学部 | I-共通-259 | 人生100年時代のライフキャリア (仕事と暮らし) を考える | 8 榊原 圭子 社会学部 |
| H-研修-241 | ヒューマンエラーと産業事故 | 喜岡 恵子 総合情報学部 | I-生涯-260 | 高齢社会の課題と生き方 ー井上円了に触れながらー | 大坪 宏至 経営学部 |
| H-研修-242 | 職場の良好な人間関係ーハラスメント防止のためのピアカウンセリングー | 3 松田 英子 社会学部 | I-生涯-261 | 認知症の母を12年間介護して | 3 中里 巧 東洋大学名誉教授 |
| H-研修-243 | 職場のメンタルヘルスマネジメント | 3 松田 英子 社会学部 | I-生涯-262 | 若い時は田舎で、年を取ったら都会で 過ごそうー人生にメリハリをー | 11 幸田 浩文 東洋大学名誉教授 |
| I 高齢化社会・人生論 | | | I-生涯-263 | 成りたい自分になる方法ー過去から 自らのライフパターンを知ろうー | 8 幸田 浩文 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-244 | 中年期におけるキャリアについて考える | 室松 慶子 法学部 | I-生涯-264 | 人生100年を経営するー「老年医学」の ベストセラーを読み解くー | 3 8 幸田 浩文 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-245 | これからの人生どう生きるかー現代社会の 課題と生き方、井上円了に触れながらー | 大坪 宏至 経営学部 | I-生涯-265 | 輝いて生きるための「終活」講座 ーおひとりさま時代の生前準備ー | 3 井上 治代 元ライフデザイン学部 |
| I-共通-246 | 年金について考える | 川瀬 晃弘 経済学部 | I-生涯-266 | お墓からみる家族社会学 | 3 井上 治代 元ライフデザイン学部 |
| I-共通-247 | 老後資金について考える | 川瀬 晃弘 経済学部 | I-生涯-267 | 死生観なき時代の死の受容ーセルフ・ スピリチュアルケアのすすめー | 3 井上 治代 元ライフデザイン学部 |
| I-共通-248 | わが国の「2025年問題」「2040年問題」を 考えるー人生100年時代を生きるためにー | 3 高野 龍昭 福祉社会デザイン学部 | I-生涯-268 | “おひとりさま” & LGBTQ の「終活」 | 5 10 井上 治代 元ライフデザイン学部 |
| I-共通-249 | これならわかる！最新・介護保険制度！ | 3 高野 龍昭 福祉社会デザイン学部 | I-生涯-269 | 生きる事は学ぶこと | 吉田 公平 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-250 | いつまでも元気に過ごす方法 | 3 古川 和稔 福祉社会デザイン学部 | I-生涯-270 | 死生学入門ー人は、如何に苦難を 乗り越えて死を受容するのかー | 3 中里 巧 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-251 | 高齢者の消費者トラブル | 太矢 一彦 法学部 | I-生涯-271 | 古い ー死生学からみた老いの豊かさー | 3 中里 巧 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-252 | 「ついの住処」とは？ ー高齢者の住宅選びのポイントー | 太矢 一彦 法学部 | J 文学・芸術 | | |
| I-共通-253 | 自宅に住み続けながら、その自宅から生活資金を調達 できる!?ーリバースモーゲージ・リースバックなどー | 太矢 一彦 法学部 | J-共通-272 | 狂言の笑い と 禅 | 3 16 原田 香織 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-254 | 空き家を相続したら | 太矢 一彦 法学部 | J-共通-273 | 『源氏物語』はおもしろい！ ー「女房」が見た、聞いた、そして喋ったー | 河地 修 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-255 | 認知症との上手な付き合い方 | 3 高鶴 裕介 食環境科学部 | J-共通-274 | 『伊勢物語』はおもしろい！ ー在原業平と没落貴族ー | 河地 修 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-256 | 「思いやり」を科学する | 浅間 正通 人間科学総合研究所 | J-共通-275 | 日本古典の王道『古今和歌集』の謎に迫る ー天皇と四季と恋ー | 河地 修 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-257 | 生きがいを探る | 浅間 正通 人間科学総合研究所 | J-共通-276 | 生誕1200年ー在原業平を追う | 河地 修 東洋大学名誉教授 |
| I-共通-258 | 高齢者と消費者被害 | 10 丸山 愛博 法学部 | J-共通-277 | 中国近代文化における竹久夢二 | 大野 公賀 法学部 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|----------|---|-------------------|------------|---|-----------------------|
| J-共通-278 | シェイクスピアの世界 | 五十嵐博久 食環境科学部 | J-生涯-298 | 菜の花にかけた蕪村の思い | 大辻 永 理工学部 |
| J-共通-279 | 『ロミオとジュリエット』の考察 | 五十嵐博久 食環境科学部 | J-生涯-299 | 紫式部の清少納言批判 －二人の女房が書き遺したもの－ | 河地 修 東洋大学名誉教授 |
| J-共通-280 | グローバル時代の教養としてのバレエ | 海野 敏 社会学部 | J-生涯-300 | 百人一首を味わう | 菊地 義裕 文学部 |
| J-共通-281 | 芸術都市ロンドンでの過ごし方 －教養としてのアート－ | 海野 敏 社会学部 | J-生涯-301 | 万葉集の「雪月花」 | 菊地 義裕 文学部 |
| J-共通-282 | グリム研究への誘い | 大野 寿子 文学部 | J-生涯-302 | 月はおもしろい | 菊地 義裕 文学部 |
| J-共通-283 | グリム童話と挿絵の黄金時代 | 大野 寿子 文学部 | K 哲学・宗教・思想 | | |
| J-共通-284 | グリム童話の森を考える | 大野 寿子 文学部 | K-共通-303 | 仏教とSDGs－特に食の問題に関して 2 12 | 竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授 |
| J-生涯-285 | 能狂言の文化史 16 | 原田 香織 東洋大学名誉教授 | K-共通-304 | 空の世界はどこにあるのか | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 |
| J-生涯-286 | 詩を楽しむ | 近藤 裕子 東洋大学名誉教授 | K-共通-305 | 『般若心経』の世界 | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 |
| J-生涯-287 | 日本の近現代小説に描かれた社会の在り方 (家族、震災など) | 石田 仁志 東洋大学名誉教授 | K-共通-306 | ブッダのさとりとその智慧とは | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 |
| J-生涯-288 | 日本文化への扉としての マンガ・アニメ 3 8 | 紀 葉子 社会学部 | K-共通-307 | 日本の戦後処理に与えたブッダのこぼ | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 |
| J-生涯-289 | ブロンテの世界 | 江口 智子 生命科学部 | K-共通-308 | 般若心経のメッセージ | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 |
| J-生涯-290 | ヘンリー・ジェームズと唯美主義 | 江口 智子 生命科学部 | K-共通-309 | 東南アジアの宗教と文化－インドネシア、 バリ島のヒンドゥー文化を中心に－ 10 16 | 山口しのぶ 元文学部 |
| J-生涯-291 | バレエとダンスへの招待 －ビデオで学ぶ見方・楽しみ方－ | 海野 敏 社会学部 | K-共通-310 | セレモニー・イベントの真実 16 | 徳江順一郎 国際観光学部 |
| J-生涯-292 | クラシックバレエ鑑賞入門－美の秘密－ | 海野 敏 社会学部 | K-共通-311 | 井上円了の「近代」との格闘 | 沼田 一郎 文学部 |
| J-生涯-293 | 宗教と音楽 | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 | K-共通-312 | 宗教からみる現代の日本社会 | 高橋 典史 社会学部 |
| J-生涯-294 | 日本の建築と西洋の建築 11 | 篠崎 正彦 理工学部 | K-生涯-313 | 人類普遍の法は存在するか －近世自然法論と国際法の誕生－ | 周 圓 法学部 |
| J-生涯-295 | 宮沢賢治とその祈り －民衆救済と自然との共生－ 1 2 16 | 高橋 直美 福祉デザイン学部 | K-生涯-314 | インド石窟寺院と壁画 | 渡辺 章悟 東洋大学名誉教授 |
| J-生涯-296 | 宮沢賢治作品（童話・詩）を 読む 1 2 15 16 *作品により異なります。 | 高橋 直美 福祉デザイン学部 | K-生涯-315 | 空海の思想について | 竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授 |
| J-生涯-297 | 日本の昔話考 | 高橋 直美 福祉デザイン学部 | K-生涯-316 | 良寛の漢詩 十選 | 竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|----------|-------------------------------------|-----------------------|----------|---|--------------------------|
| K-生涯-317 | ファンタジーの世界 ーロマン派・神話・童話の豊かさー | 16 中里 巧 東洋大学名誉教授 | L-生涯-336 | 大人の理科教室ー小学校理科実験はこんなに おもしろかった〜ペットボトル風力発電など を通して今日のエネルギー問題を考えよう | 7 寺木 秀一 元文学部 |
| K-研修-318 | 世阿弥のこぼれ | 16 原田 香織 東洋大学名誉教授 | L-生涯-337 | 大人の理科教室ー煮干しの解剖をして マイクロプラスチックを探し海の豊か さを考えよう | 14 寺木 秀一 元文学部 |
| L 科学・数学 | | | L-生涯-338 | 大人の理科教室ーアンモナイトや三葉虫の レプリカと全長 4.6 mの地球生命年表づく りを通して地球の歴史を探ろうー | 13 寺木 秀一 元文学部 |
| L-共通-319 | 原子・分子の世界 | 本橋 健次 生命科学部 | L-生涯-339 | 知っているようで知らない脳のこと ー誕生から老化までー | 3 金子 律子 生命科学部 |
| L-共通-320 | プラズマの科学 | 9 本橋 健次 生命科学部 | L-生涯-340 | 子どもから高齢者まで、 ホルモンが支える健康 | 3 金子 律子 生命科学部 |
| L-共通-321 | 天文学ー宇宙ー | 萩原 喜昭 文学部 | L-生涯-341 | 現代社会を生き抜く科学力 ー宇宙・物質・生命を通して学ぶ生きる知恵 | 和田 直久 東洋大学名誉教授 |
| L-共通-322 | 放射線を用いた生物資源の拡大 | 9 鳴海 一成 生命科学部 | L-生涯-342 | 脳とホルモンの抜き差しならない関係 心の状態を決めるのは脳？ それともホルモン？ | 3 金子 律子 生命科学部 |
| L-共通-323 | 放射線抵抗性細菌の生存戦略 | 9 鳴海 一成 生命科学部 | M 経済・産業 | | |
| L-共通-324 | 素数の不思議とゼータ関数 | 小山 信也 理工学部 | M-共通-343 | SDGs と環境にやさしいものづくり 〜つくる責任とつかう責任〜 | 12 神田 雄一 東洋大学名誉教授 |
| L-共通-325 | 中高生からの数学研究法 | 小山 信也 理工学部 | M-共通-344 | 新たな日本型ものづくりの創成 | 9 神田 雄一 東洋大学名誉教授 |
| L-共通-326 | テレビ番組（「特捜9」「笑わない数学」）の 監修者として思うこと | 小山 信也 理工学部 | M-共通-345 | イノベーションとは何か | 17 市川 顕 国際学部 |
| L-共通-327 | 数値の正しい理解とコロナ対策 | 3 11 小山 信也 理工学部 | M-共通-346 | 経済学は役に立つ ーノーベル経済学賞受賞分野の紹介ー | 平瀬 和基 経済学部 |
| L-共通-328 | 糖・糖鎖とは何か | 宮西 伸光 食環境科学部 | M-共通-347 | 経済学のフロンティアを普段使いに | 佐々木啓介 経済学部 |
| L-共通-329 | 植物という生き方 | 13 廣津 直樹 生命科学部 | M-共通-348 | 日本の雇用・働き方のこれから | 8 久米 功一 経済学部 |
| L-共通-330 | アクアリウムの水草は なぜ水中で生きられるのか？ | 廣津 直樹 生命科学部 | M-共通-349 | 新しいテクノロジーと これからの働き方・学び方 | 8 久米 功一 経済学部 |
| L-共通-331 | 細胞社会のコミュニケーション | 17 根建 拓 生命科学部 | M-共通-350 | 働きやすい会社はどこ？「女性活躍 推進企業データベース」を使おう | 5 村尾祐美子 社会学部 |
| L-共通-332 | 運動効果は、なぜ筋肉だけでなく 体全体にあらわれるのか？ | 3 根建 拓 生命科学部 | M-共通-351 | 2026年の政治・経済展望 ーサナエノミクスの実現可能性ー | 8 9 松原 聡 東洋大学名誉教授・元学長 |
| L-共通-333 | なぜストレスはあるのか？ なぜ病気はあるのか？ | 17 根建 拓 生命科学部 | M-共通-352 | 南アジア3カ国の比較地誌 ー立地と開発戦略ー | 8 10 小林 正夫 社会学部 |
| L-共通-334 | 水の自然誌と生命、環境、未来 | 6 11 14 清田 佳美 経済学部 | M-共通-353 | 副業の働き方について考える | 8 川上 淳之 経済学部 |
| L-共通-335 | 火山灰の中からキラキラ ー誰でもできる造岩鉱物の観察 | 15 寺木 秀一 元文学部 | M-共通-354 | 労働統計を読む方法 | 川上 淳之 経済学部 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|------------|-------------------------------------|-----------------------------|----------|-----------------------------------|-----------------------------|
| M-共通-355 | 商法総則を読む。 | 遠藤 喜佳 東洋大学名誉教授 | N-共通-374 | 「成人年齢の引き下げ」で何が 変わるか？－契約と社会－ | 10 16 山下りえ子 法学部 |
| M-生涯-356 | 現実の経済を経済理論によって 如何に理解するか | 斎藤 孝 経済学部 | N-共通-375 | 高齢者の財産管理 －「老い支度」再考－ | 3 16 山下りえ子 法学部 |
| M-生涯-357 | 日本にカジノを作るべきか | 児玉 俊介 元経済学部 | N-共通-376 | 21世紀の民法と国際化 －最近の民法改正でどう変わるのか－ | 12 16 山下りえ子 法学部 |
| M-生涯-358 | 長い目で見た少子高齢社会 | 児玉 俊介 元経済学部 | N-共通-377 | Withコロナの新しいまちづくり －孤独・人口・人権 | 11 沼田 良 元法学部 |
| M-生涯-359 | 授業料タダはいいことか | 児玉 俊介 元経済学部 | N-共通-378 | 公契約を審議する | 11 沼田 良 元法学部 |
| M-生涯-360 | 街区（児童）公園の有料化 | 児玉 俊介 元経済学部 | N-共通-379 | 消費者破産とはどのようなものか？ －破産したときの解決方法－ | 1 5 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 |
| M-生涯-361 | 効率と公平 | 児玉 俊介 元経済学部 | N-共通-380 | 企業倒産、企業破産に対する 対処法 | 1 5 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 |
| M-生涯-362 | 高経年マンションの価値を維持するには | 秋山 哲一 東洋大学名誉教授 | N-共通-381 | 戦後日本の宰相列伝 | 西川 吉光 東洋大学名誉教授 |
| M-生涯-363 | 高経年マンションの価値向上にむけて －具体的な取り組みをもとに－ | 11 秋山 哲一 東洋大学名誉教授 | N-生涯-382 | 気になる身近な財産管理 －成年後見・相続（遺言）－ | 小林 秀年 東洋大学名誉教授 |
| M-生涯-364 | ドローンによる地域活性化事業 | 8 9 13 澁澤健太郎 東洋大学名誉教授 | N-生涯-383 | 高齢者の財産管理と民法 | 小林 秀年 東洋大学名誉教授 |
| N 政治・法律・行政 | | | N-生涯-384 | 成人年齢引下げと民法 | 小林 秀年 東洋大学名誉教授 |
| N-共通-365 | 持続可能な地域づくりに向けた 自治体行財政の課題 | 11 沼尾 波子 国際学部 | N-生涯-385 | 法を知って自分を守ろう | 10 早川 和宏 法学部 |
| N-共通-366 | 労働安全衛生法の基本 | 8 北岡 大介 法学部 | N-生涯-386 | 公文書管理の世界 | 10 早川 和宏 法学部 |
| N-共通-367 | 行政法的喧嘩の作法 | 10 早川 和宏 法学部 | N-生涯-387 | 消費者破産とはどのようなものか？ －破産したときの解決方法－ | 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 |
| N-共通-368 | 役所の仕事の進め方 －正しい根拠と手続の確保－ | 10 早川 和宏 法学部 | N-生涯-388 | 企業倒産、企業破産に対する対処法 | 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 |
| N-共通-369 | インターネットと法 | 井上 貴也 法学部 | N-生涯-389 | 小学生のお金の知識－消費生活－ | 1 5 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 |
| N-共通-370 | 法って何だろう | 井上 貴也 法学部 | N-生涯-390 | 中学生のお金の知識－消費生活－ | 1 5 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 |
| N-共通-371 | 著作権法入門 | 安藤 和宏 法学部 | N-生涯-391 | 高校生のためのお金の知識 －消費生活－ | 1 5 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 |
| N-共通-372 | 身近な独占禁止法 | 多田 英明 法学部 | N-生涯-392 | 小学生で学ぶ 国の仕組み・憲法・人権 | 1 5 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 |
| N-共通-373 | 法の経済分析 | 加賀見一彰 経済学部 | | | |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|----------|--------------------------------|-------------------|------------|-------------------------------------|------------------------------|
| O 歴史 | | | P 国際化社会・外交 | | |
| O-共通-393 | 江戸幕府の旗本たち | 白川部達夫 東洋大学名誉教授 | P-共通-412 | 社会人のための初めてのアメリカ留学 | 安藤 和宏 法学部 |
| O-共通-394 | 江戸時代の百姓の土地所有 ー東アジアとの比較を通してー | 白川部達夫 東洋大学名誉教授 | P-共通-413 | 世界の多言語な地域社会 | 中挟知延子 国際観光学部 |
| O-共通-395 | 百姓一揆の実像 | 白川部達夫 東洋大学名誉教授 | P-共通-414 | 外国人観光客のための多言語への取組 | 中挟知延子 国際観光学部 |
| O-共通-396 | 「頼み」と日本人の歴史 | 白川部達夫 東洋大学名誉教授 | P-共通-415 | グローバルってなあに？ ーグローバル時代の考え方ー | 大坪 宏至 経営学部 |
| O-共通-397 | 江戸の将軍たち | 白川部達夫 東洋大学名誉教授 | P-共通-416 | 中国の教育と社会 | 荒川 雪 社会学部 |
| O-共通-398 | 鎌倉・室町時代の武家主従制と「頼み」 | 白川部達夫 東洋大学名誉教授 | P-共通-417 | 現代インドの政治と社会 | 上田 知亮 法学部 |
| O-共通-399 | 室町・戦国時代の武将と「頼み」 | 白川部達夫 東洋大学名誉教授 | P-共通-418 | 混迷する日本政治の現状と課題、 そして日本復活の処方箋 | 1 8 10 西川 吉光 東洋大学名誉教授 |
| O-共通-400 | 近代日本の戦争と平和：いま平和を考える 16 | 西川 吉光 東洋大学名誉教授 | P-共通-419 | トランプ政権が世界に与える影響& 分裂を深めるアメリカ社会の現状 | 10 西川 吉光 東洋大学名誉教授 |
| O-共通-401 | ペリー来航と幕末情報社会 | 岩下 哲典 文学部 | P-共通-420 | 21世紀の新世界秩序を占う アメリカの覇権後退と大国鼎立の時代へ | 9 10 16 西川 吉光 東洋大学名誉教授 |
| O-共通-402 | ペリー来航と日本の対応に学ぶ 外圧への接し方 | 岩下 哲典 文学部 | P-共通-421 | 緊迫する国際情勢と日本の生き残り戦略 | 西川 吉光 東洋大学名誉教授 |
| O-共通-403 | 近代中国の歴史 | 千葉 正史 文学部 | P-共通-422 | 日本の安全保障政策 | 16 西川 吉光 東洋大学名誉教授 |
| O-共通-404 | 交通がむすぶ東アジアの近代 | 千葉 正史 文学部 | P-共通-423 | 米中対立と中国の動向、 そして台湾問題を考える | 16 西川 吉光 東洋大学名誉教授 |
| O-共通-405 | 自己と世界の関係 | 沼田 一郎 文学部 | P-共通-424 | 中東・イスラーム世界とは | 三沢 伸生 社会学部 |
| O-共通-406 | 日本・トルコ関係史 | 三沢 伸生 社会学部 | P-共通-425 | 欧州連合（EU）統合の現在 | 多田 英明 法学部 |
| O-共通-407 | 渋沢栄一とその時代 | 9 坂口 誠 経営学部 | P-共通-426 | 隣国から見たウクライナ戦争 | 17 市川 顕 国際学部 |
| O-共通-408 | ヨーロッパに生きる古典語・古典文化 | 曾田 長人 経済学部 | P-共通-427 | 多言語国家に見る生活の知恵 ースイスを例にー | 10 曾田 長人 経済学部 |
| O-生涯-409 | 神の平和と神の戦争 ーキリスト教における戦争観の変遷ー | 周 圓 法学部 | P-共通-428 | 異文化理解 戦争捕虜の体験より | 10 市田せつ子 東洋大学名誉教授 |
| O-生涯-410 | イギリスのデパートと日本趣味 | 道重 一郎 東洋大学名誉教授 | P-生涯-429 | ツアー・ツーリスト・ツーリズムの 始まり | 3 16 市田せつ子 東洋大学名誉教授 |
| O-生涯-411 | 「江戸無血開城」の真実 16 | 岩下 哲典 文学部 | P-生涯-430 | 開発途上国協力を目指す人へ | 3 6 北脇 秀敏 国際学研究科 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|--------------|-----------------------------------|------------------------|----------|-----------------------------------|-------------------------|
| P-生涯-431 | 英米比較文化に探る グローバルコミュニケーションへの眼差し | 浅間 正通 人間科学総合研究所 | Q-共通-450 | メルカリやると商人か？ | 遠藤 喜佳 東洋大学名誉教授 |
| P-生涯-432 | ブラジルから見た日本 | 1 3 16 紀 葉子 社会学部 | Q-共通-451 | 中小企業経営の今と未来 －時代を創る経営者の姿と企業家精神－ | 9 山本 聡 経営学部 |
| P-生涯-433 | 牛が人を食う－アマゾンの 熱帯雨林が燃えるわけ－ | 1 3 16 紀 葉子 社会学部 | Q-共通-452 | 企業におけるコンプライアンス経営の重要性 | 奥乃 真弓 法学部 |
| P-生涯-434 | イギリスの都市をめぐる－文化と社会－ | 道重 一郎 東洋大学名誉教授 | Q-共通-453 | スポーツコーチングに学ぶ人財育成 | 8 水島 淳 健康スポーツ科学部 |
| P-生涯-435 | 近代スポーツとイギリス文化 | 道重 一郎 東洋大学名誉教授 | Q-共通-454 | 「AI 時代の意思決定－古典が教える儀式化の 民と懐疑心」 | 山口 峰男 経営学部 |
| Q 企業・経営・ビジネス | | | Q-共通-455 | 日本人は勤勉か －勤勉さと勤勉に働くことを考える | 8 久米 功一 経営学部 |
| Q-共通-436 | あなたがその商品を手にするまで －消費生活の新時代を迎えて－ | 12 長島 広太 経営学部 | Q-生涯-456 | どのような会社に入ったらよいのか？ | 9 幸田 浩文 東洋大学名誉教授 |
| Q-共通-437 | コンビニエンスストア最新事情 | 12 長島 広太 経営学部 | Q-研修-457 | ダイバーシティ・マネジメント －リーダーシップのあり方とは－ | 8 堀本麻由子 文学部 |
| Q-共通-438 | 広告の役割と付き合い方 | 12 長島 広太 経営学部 | Q-研修-458 | マーケティング入門 | 9 長島 広太 経営学部 |
| Q-共通-439 | テーマパークの魅力作りとその経営 | 12 長島 広太 経営学部 | Q-研修-459 | インターネット・マーケティング入門 | 9 長島 広太 経営学部 |
| Q-共通-440 | 「おもてなし」はホスピタリティ!? | 16 徳江順一郎 国際観光学部 | Q-研修-460 | 再入門マーケティング | 9 長島 広太 経営学部 |
| Q-共通-441 | 「消費者と所得」 | 小川 純生 東洋大学名誉教授 | Q-研修-461 | 内部監査入門 －内部監査の基本と進め方－ | 8 9 島田 裕次 元総合情報学部 |
| Q-共通-442 | 遊び概念と面白さ | 小川 純生 東洋大学名誉教授 | Q-研修-462 | 監査の上手な受け方－監査時代に いかに対応すればよいか－ | 8 9 島田 裕次 元総合情報学部 |
| Q-共通-443 | 知らない権利、知らない美德 －遊び概念視点から－ | 小川 純生 東洋大学名誉教授 | Q-研修-463 | 不正・不祥事対策入門 －発生のメカニズムと未然防止－ | 8 9 島田 裕次 元総合情報学部 |
| Q-共通-444 | 「空を飛ぶ方法をお教えます －パラグライダー」 | 小川 純生 東洋大学名誉教授 | Q-研修-464 | 経理DX からはじめよう | 9 中野 雅史 総合情報学部 |
| Q-共通-445 | 企業の社会的責任と会社法 | 井上 貴也 法学部 | Q-研修-465 | ダイバーシティと「話し合い」の技術 | 8 17 奥村 哲史 元経営学部 |
| Q-共通-446 | 新規事業の考え方 | 9 中野 剛治 経営学部 | R ことば・語学 | | |
| Q-共通-447 | 合理的な行動とは －行動経済学からみた経済合理性－ | 久米 功一 経済学部 | R-共通-466 | 英単語の覚え方 －英語の特質を活かした効果的な方法－ | 室松 慶子 法学部 |
| Q-共通-448 | 音楽著作権ビジネス | 安藤 和宏 法学部 | R-共通-467 | 1時間でわかる英語学習法！ －英語学習のウソ・ホント－ | 古田 直肇 文学部 |
| Q-共通-449 | 契約交渉のノウハウ | 安藤 和宏 法学部 | R-共通-468 | 学校英語 VS 実用英語 | 人見 憲司 東洋大学名誉教授 |

| テーマNo | テーマ名 | 講師名 所属 |
|----------|---|---------------------|
| R-共通-469 | 英語と日本語の違い ー異文化コミュニケーションの必要性ー | 人見 憲司 東洋大学名誉教授 |
| R-共通-470 | 英語指導に役立つ発音のポイント | 高橋 豊美 法学部 |
| R-共通-471 | ヴィジュアル言語 日本語の面白さ | 三宅 和子 東洋大学名誉教授 |
| R-共通-472 | ソーシャルメディアの コミュニケーションと日本語 | 三宅 和子 東洋大学名誉教授 |
| R-共通-473 | グローバル化の中の日本語 | 5 三宅 和子 東洋大学名誉教授 |
| R-共通-474 | ことば遣いと配慮 | 三宅 和子 東洋大学名誉教授 |
| R-共通-475 | 海外大学・大学院進学希望者の為の TOEFL 学習 | 金子 雅也 国際観光学部 |
| R-共通-476 | ドイツ語を楽しく学ぶために、 ドイツ語を知ってドイツを学ぶために | 市田せつ子 東洋大学名誉教授 |
| R-共通-477 | 業務上の英語コミュニケーションにおける 機械翻訳・生成系 AI | 17 藏屋 伸子 法学部 |
| R-生涯-478 | 気になる日本語 | 木村 一 文学部 |
| R-生涯-479 | 19世紀の日本語 | 木村 一 文学部 |
| R-生涯-480 | あなたはどんな言葉や言葉の使い方が 気になりますか？ー今どきの日本語ー | 坂詰 力治 東洋大学名誉教授 |
| R-生涯-481 | 「先生が来た！」ーあなたはこんな時どんな 敬語を使いますかー | 坂詰 力治 東洋大学名誉教授 |
| R-生涯-482 | 漢字の魅力を知ろうー漢字の表す姿と形ー | 坂詰 力治 東洋大学名誉教授 |
| R-生涯-483 | 言語教育のための言語学 | 高橋 豊美 法学部 |
| R-生涯-484 | 英文法の魅力とは？ ー海外留学における英文法の効能についてー | 古田 直肇 文学部 |
| R-生涯-485 | 日英語彙比較論ーなぜ日本語には漢字があり、 音読み・訓読みがあるのか？ー | 古田 直肇 文学部 |

2026年度 講師派遣 テーマ一覧 〈SDGs達成学習支援プログラム〉

下記のテーマの中からお選びいただけます。各テーマの詳細（個別の内容ページ）については本学Webサイト（<https://sites.google.com/toyo.jp/haken/home/>）に掲載しております。**お申し込みの際は必ず事前にご確認ください。**申込期間外や本学関連団体（浦水会や校友会支部）は講師派遣制度を利用できません。



SDGs
(持続可能な開発目標)とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東洋大学講師派遣事業は、SDGs17の国際目標「**4 質の高い教育をみんなに**」を全体の共通目標としております。また、その他の目標に沿った内容のテーマには、上記番号をつけております。

小 小学校 **中** 中学校 **高** 高等学校 **紺** 特別支援学校


| テーマ No | 対象 | テーマ名 | 講師名属 | テーマ No | 対象 | テーマ名 | 講師名属 |
|--------|-------------------------------|--|--|--------|--|----------------------------------|--|
| 1 | 小 ※ | 遊びながら、考えよう！ ～障がい理解への扉～ ※幼児（5歳児）～小学校2年生まで | 3 嶋崎 博嗣 10 福祉社会デザイン学部 | 4 | 小 中 高 紺 | 宗教文化を学んで日本と世界の 人々についての理解を深めよう | 3 高橋 典史 10 社会学部 |
| 2 | 小 中 高 | 植物の研究で食糧問題に 挑戦する | 2 廣津 直樹 生命科学部 | 5 | 小 中 高 紺 | 宗教からみる現代の日本社会 | 3 高橋 典史 社会学部 |
| 3 | 小 中 高 | 食べ物の好き嫌いは なぜ生じるのか？ | 2 大瀬良知子 3 食環境科学部 | 6 | 小 中 高 | 外国人とともにいきる | 3 南野奈津子 10 16 福祉社会デザイン学部 |

| テーマ No | 対象 | テーマ名 | 講師名所属 | テーマ No | 対象 | テーマ名 | 講師名所属 |
|--------|-----|--|---------------------|--------|-----|---|--------------------|
| 7 | 小中高 | 世界の病院 | 岡本 和彦 理工学部 | 24 | 小中高 | 開発途上国の環境問題 | 北脇 秀敏 国際学研究所 |
| 8 | 小中高 | モバイル・ホスピタル | 岡本 和彦 理工学部 | 25 | 小中高 | 開発途上国協力を目指す人へ | 北脇 秀敏 国際学研究所 |
| 9 | 小中高 | 植物という生き方 | 廣津 直樹 生命科学部 | 26 | 小中高 | ダイバーシティとは：皆が楽しく過ごせる社会を作しましょう | 加藤千恵子 総合情報学部 |
| 10 | 小中高 | 日本で生活している難民 | 荻野 剛史 福祉社会デザイン学部 | 27 | 小中高 | EUの気候変動・エネルギー政策 | 市川 顕 国際学部 |
| 11 | 小中高 | アマゾンで燃えてしまったものは何？ | 紀 葉子 社会学部 | 28 | 小中高 | パリ協定って何？ | 市川 顕 国際学部 |
| 12 | 小中高 | ブラジルのこどもはみんなサッカーが上手なんて、嘘だから | 紀 葉子 社会学部 | 29 | 小中高 | 日本人の働き方はこれからどうなるのか | 久米 功一 経済学部 |
| 13 | 小中高 | ブラジルのシンデレラたち | 紀 葉子 社会学部 | 30 | 小中高 | 未来の仕事ー新しいテクノロジーとともに働く | 久米 功一 経済学部 |
| 14 | 小中高 | 健康診断は誰のため？ | 内山 有子 健康スポーツ科学部 | 31 | 小中高 | どうしてもやってしまう、どうしてもやめられないー非合理的な行動について考えよう | 久米 功一 経済学部 |
| 15 | 小中高 | 運動と身体：運動により身体はどう変わるのか？ | 小河 繁彦 生命科学部 | 32 | 小中高 | 日本人は勤勉かー勤勉さと勤勉に働くことを考える | 久米 功一 経済学部 |
| 16 | 小中高 | 食と身体：食事により身体はどう変わるのか？ | 小河 繁彦 生命科学部 | 33 | 小中高 | 共に生きる社会について考える | 中狭知延子 国際観光学部 |
| 17 | 小中高 | 最新の自立支援介護！元気を取り戻す科学的介護の実際 | 古川 和穂 福祉社会デザイン学部 | 34 | 小中高 | 地方創生ってなに？ | 市川 顕 国際学部 |
| 18 | 小中高 | 運動の面白さって誰のもの？ | 高橋 珠実 食環境科学部 | 35 | 小中高 | みんなで参加して共生するために | 市川 顕 国際学部 |
| 19 | 小中高 | (講義版) パラリンピック種目体験で変わる、広がる！スポーツの世界、あなたの世界！！ | 高橋 珠実 食環境科学部 | 36 | 中高 | 身近な環境問題「光害」を考えよう | 越智 信彰 経営学部 |
| 20 | 小中高 | (実技版) ニュースポーツ、パラリンピック種目体験で変わる、広がる！スポーツの世界、あなたの世界！！ | 高橋 珠実 食環境科学部 | 37 | 中 | 「障がい者スポーツ」を通して「コミュニケーション」や「会話」を考えてみよう | 金子 元彦 健康スポーツ科学部 |
| 21 | 小中高 | ロシア語圏移住者でみる在留外国人コミュニティ | ゴロウナ・クセニヤ 社会学部 | 38 | 高 | 食にみる持続可能な開発 | 徳江順一郎 国際観光学部 |
| 22 | 小中高 | 外国にルーツのある児童と言語教育 | ゴロウナ・クセニヤ 社会学部 | 39 | 高 | エコロジー・リゾートを通じた観光振興 | 徳江順一郎 国際観光学部 |
| 23 | 小中高 | 開発途上国の環境衛生 | 北脇 秀敏 国際学研究所 | 40 | 高 | 観光を学ぶとは | 徳江順一郎 国際観光学部 |

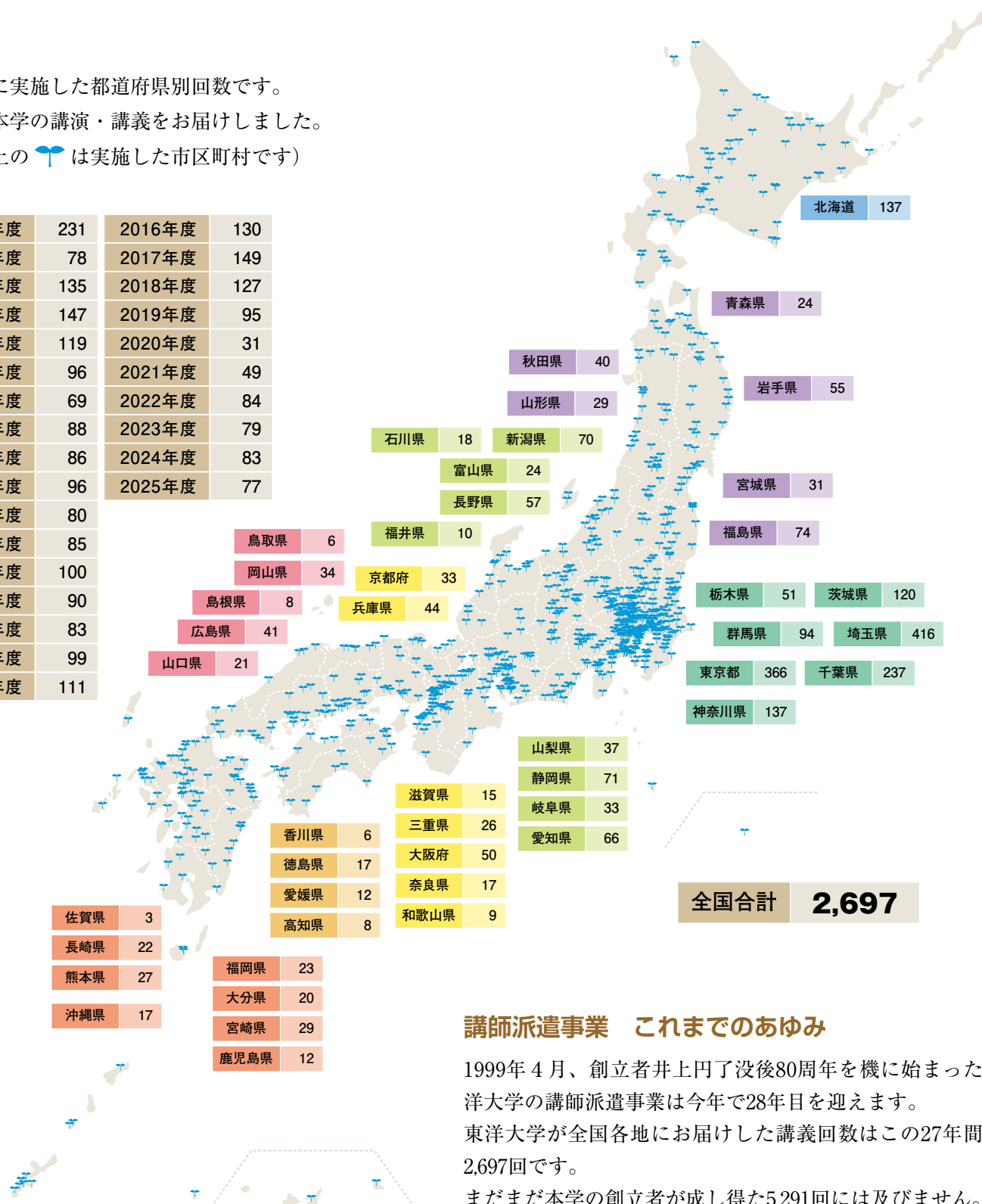
| テーマ No | 対象 | テーマ名 | 講師名 所属 | テーマ No | 対象 | テーマ名 | 講師名 所属 |
|--------|------------|------------------------------------|-----------------------------------|--------|------------|---|-------------------------------|
| 41 | 中高 | ブラジル・アマゾンにおけるアグロフォレストリー | 1 8 13 15 小林 正夫 社会学部 | 58 | 高 | 健康を守ってくれている身近な医療機器とは | 3 加藤 和則 健康スポーツ科学部 |
| 42 | 中高 | ネパール山間地域の課題：森林再生と人口維持にむけて | 1 11 13 15 小林 正夫 社会学部 | 59 | 高 | 食と健康 －食生活からの健康な人生－ | 3 高鶴 裕介 食環境科学部 |
| 43 | 中高 | ウイルスと戦う免疫の仕組み | 3 加藤 和則 健康スポーツ科学部 | 60 | 高 | 運動効果は、なぜ筋肉だけでなく体全体にあらわれるのか？ | 3 根建 拓 生命科学部 |
| 44 | 中高 | 数値の正しい理解とコロナ対策 | 3 11 小山 信也 理工学部 | 61 | 高 | 「障がい者スポーツ」を通して「人・ヒト」や「コミュニケーション」を考えてみよう | 3 10 金子 元彦 健康スポーツ科学部 |
| 45 | 中高 | 大学で学ぶことを経済学で考える | 8 川上 淳之 経済学部 | 62 | 高 | 微分・積分と物理学 | 本橋 健次 生命科学部 |
| 46 | 小中高 高 縦 | 地域で取り組むカーボン・ニュートラル | 11 13 荒巻 俊也 国際学部 | 63 | 高 | 糖進化から生命進化を垣間見る | 宮西 伸光 食環境科学部 |
| 47 | 中高 | お金を借りて返せなくなったらどうする？－夜逃げか破産か－ | 8 10 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 | 64 | 高 | 働きやすい会社はどこ？「女性活躍推進企業データベース」を使おう | 5 村尾祐美子 社会学部 |
| 48 | 小 | お金にこまったらどうするの？－くらしを立て直すルール－ | 3 8 10 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 | 65 | 高 | 細胞社会のコミュニケーション | 17 根建 拓 生命科学部 |
| 49 | 小 | おみせがなくなるのはなぜ？－会社とお金のおはなし－ | 3 8 10 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 | 66 | 高 | なぜストレスはあるのか？ なぜ病気はあるのか？ | 17 根建 拓 生命科学部 |
| 50 | 中 | お金が返せなくなったらどうなる？－借金にこまったときの法律のしくみ－ | 3 8 10 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 | 67 | 高 | ドイツの気候変動対策 | 13 曾田 長人 経済学部 |
| 51 | 中 | 会社がつぶれると何が起きる？－会社とお金のトラブル－ | 3 8 10 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 | 68 | 高 | ユニファイド・スポーツ®を知っていますか | 3 17 志村 健一 福祉社会デザイン学部 |
| 52 | 高 | 失敗しても人生は終わらない－消費者破産による経済的再スタート－ | 3 8 10 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 | 69 | 中高 | 宮沢賢治作品から農業の大切さと大変さを学ぶ | 1 2 15 高橋 直美 福祉社会デザイン学部 |
| 53 | 高 | 会社が倒産すると何が起きるのか－企業倒産と法律の役割－ | 3 8 10 16 櫻本 正樹 東洋大学名誉教授 | 70 | 小中高 | 宮沢賢治童話から差別やいじめを考える | 10 高橋 直美 福祉社会デザイン学部 |
| 54 | 中高 | 哲学カフェ：ロボットと暮らす世界を考える | 10 11 12 16 17 松浦 和也 文学部 | 71 | 小中高 高 縦 | 傷ついた DNA を治すタンパク質を改良して過酷な環境に強くする | 3 9 鳴海 一成 生命科学部 |
| 55 | 中高 | 観光とボランティア | 11 中挟知延子 国際観光学部 | 72 | 小中高 高 縦 | 極限環境微生物の先端科学をSDGs 達成のために活かす | 3 9 伊藤 政博 生命科学部 |
| 56 | 中高 | 持続可能な文化ツーリズム | 11 中挟知延子 国際観光学部 | 73 | 小中高 | スマホ顕微鏡で地球最強生物クマムシを観察しよう！ | 9 伊藤 政博 生命科学部 |
| 57 | 中高 高 縦 | 人工知能と人間社会 | 9 12 佐野 崇 情報連携学部 | 74 | 中高 | 社会における法－成人年齢の引き下げと消費者契約－ | 12 16 山下りえ子 法学部 |

| テーマ No | 対象 | テーマ名 | 講師名所属 | テーマ No | 対象 | テーマ名 | 講師名所属 |
|--------|---------------|---|-------------------------------|--------|---------------|--|---|
| 75 | 小中高 | 物語や映画からみる法律と社会 | 3 10 16 山下りえ子 法学部 | 92 | 中高 縦 | 水の自然誌と生命、環境、未来 | 6 11 14 清田 佳美 経済学部 |
| 76 | 小中高 縦 | 空気は誰のもの? 「香害」について考える | 3 川瀬 晃弘 経済学部 | 93 | 中高 | 自転車事故で問われる責任 | 太矢 一彦 法学部 |
| 77 | 小中高 縦 | ハーバード式 Zoom 授業入門 | 川瀬 晃弘 経済学部 | 94 | 中高 | 儲けながら社会問題もマルっと 解決? - マイクロファイナンス・ ソーシャルビジネスの世界 - | 1 5 10 西村めぐみ 経済学部 |
| 78 | 高 | 株式会社と株式投資の仕組み | 8 奥乃 真弓 法学部 | 95 | 高 | 業務上の英語コミュニケーション における機械翻訳・生成系 AI | 17 藏屋 伸子 法学部 |
| 79 | 小中高 縦 | 感じ方ってみんな違って 当たり前 | 3 金子 律子 生命科学部 | 96 | 小中高 高 | 持続可能な開発目標 (SDGs) と 教育のアプローチ | 5 10 16 西川 吉光 東洋大学名誉教授 |
| 80 | 小中高 縦 | 楽しく学ぼう~「ホルモン」の 働きはすごいよ | 3 金子 律子 生命科学部 | 97 | 中高 | 21世紀の幸福論 - 幸せな国づくりに取り組む ブータンの事例を通して - | 1 3 9 10 11 藤原 整 社会学部 |
| 81 | 中高 | 夫婦同氏制について考える | 5 10 丸山 愛博 法学部 | 98 | 中高 | 野生動物とどうつきあうか - 現状とこれから - | 11 15 室山 泰之 経済学部 |
| 82 | 高 | スポーツコーチング - 「教える」から「学ぶ」へ | 水島 淳 健康スポーツ科学部 | 99 | 小中高 高 縦 | 多様な性をスポーツから考える | 5 10 松宮 智生 法学部 |
| 83 | 小中高 高 | スポーツの教育的価値 | 水島 淳 健康スポーツ科学部 | 100 | 小中高 高 | SDGs ってなんだろう? ~身近な課題から考える SDGs ~  | 林 大介 福祉社会デザイン学部 |
| 84 | 小中高 高 縦 | みんなが活躍できる ボール運動の授業って? | 3 奥村 拓朗 健康スポーツ科学部 | 101 | 小中高 高 | 世界と日本の子どもの現状~ 今と未来を担う子どもができる ことは? | 1 2 5 10 11 16 17 林 大介 福祉社会デザイン学部 |
| 85 | 中高 | 地域資源を再評価して 「地域学」を構築しよう | 11 高橋 一男 東洋大学名誉教授 | 102 | 中高 | グリム研究への誘い | 大野 寿子 文学部 |
| 86 | 小中高 高 | 学齢期人口減少期の地方に おける教育 | 高橋 一男 東洋大学名誉教授 | 103 | 中高 | グリム童話と挿絵の黄金時代 | 大野 寿子 文学部 |
| 87 | 小中高 高 | AI 社会哲学者が考える未来の AI 社会 - AI への信頼と共感 - | 12 津村 賢宏 情報連携学部 | 104 | 中高 | グリム童話の森を考える | 大野 寿子 文学部 |
| 88 | 小中高 高 | SDGs と環境にやさしいものづく り~つくる責任とつかう責任~ | 12 神田 雄一 東洋大学名誉教授 | | | | |
| 89 | 小中高 高 | 新たな日本型ものづくりの創成 | 9 神田 雄一 東洋大学名誉教授 | | | | |
| 90 | 高 | 食品の成分を知るといこと | 3 細谷 孝博 食環境科学部 | | | | |
| 91 | 中高 | 数学の神様が微笑むとき | 小山 信也 理工学部 | | | | |

現在の講師派遣 1999年度～2025年度

27年間に実施した都道府県別回数です。
 全国に本学の講演・講義をお届けしました。
 (地図上の  は実施した市区町村です)

| | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| 1999年度 | 231 | 2016年度 | 130 |
| 2000年度 | 78 | 2017年度 | 149 |
| 2001年度 | 135 | 2018年度 | 127 |
| 2002年度 | 147 | 2019年度 | 95 |
| 2003年度 | 119 | 2020年度 | 31 |
| 2004年度 | 96 | 2021年度 | 49 |
| 2005年度 | 69 | 2022年度 | 84 |
| 2006年度 | 88 | 2023年度 | 79 |
| 2007年度 | 86 | 2024年度 | 83 |
| 2008年度 | 96 | 2025年度 | 77 |
| 2009年度 | 80 | | |
| 2010年度 | 85 | | |
| 2011年度 | 100 | | |
| 2012年度 | 90 | | |
| 2013年度 | 83 | | |
| 2014年度 | 99 | | |
| 2015年度 | 111 | | |



講師派遣事業 これまでのあゆみ

1999年4月、創立者井上円了没後80周年を機に始まった東洋大学の講師派遣事業は今年で28年目を迎えます。東洋大学が全国各地にお届けした講義回数はこの27年間で2,697回です。まだまだ本学の創立者が成し得た5,291回には及びません。今後も地域と東洋大学をつなぐ創立者の志をお届けしていきたいと思ひます。

お問い合わせ

東洋大学 社会貢献センター事務室

www.toyo.ac.jp/social/csc/

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-10-2 東洋大学 浦水会館1階 TEL 03-3945-7624 (平日 9:30~13:00・14:00~17:00)
 メール mlhaken-t@toyo.jp お問い合わせは、可能な限りメールにてお願いいたします。